

外部検証委員会（経営体分野）次第

日時 令和2年11月26日（木）午後7時から

場所 益子町役場休憩室

1 開会

2 出席者紹介

3 配布資料の確認

4 案件

（1）概要説明（総務部長）

（2）施策ごとの検証（シート毎ではなく、各施策・複数課のシートに渡り質疑）

（3）その他

5 閉会

外部検証・意見シートの提出について

既にお配りしている「様式2 外部検証・意見シート」につきまして、本委員会終了後10日を目安に、返信用封筒をご利用いただきご回答をお願いします。

新ましこ未来計画外部検証委員会（経営体分野）発言要旨

日時	令和2年11月26日(木) 18:55~19:55	
場所	役場 休憩室大	
出席者	委員	安藤委員、海老澤委員、膝附委員（欠席：）
	職員	日下田総務部長兼企画課長、高濱総務課長、高濱税務課長
	事務局	佐藤係長、出口
配布資料	次第、推進状況総括シート、推進シート	

発言者	発言要旨
民生部長	<p>1. 開会</p> <p>2. 出席者紹介</p> <p>3. 配布資料確認</p> <p>4. 案件</p> <p>(1) 概要説明</p> <p>総括シートにより説明</p>
委員	<p>(2) 施策ごとの検証</p> <p>OP.63 施策1 安定した財源確保への取組</p> <p>ふるさと納税について、最終的にはどれくらいの金額を目指すのか。</p>
日下田部長	<p>現時点では、前年同期額の約90%に至っている。最低限、昨年度の実績分はほしいところ、できれば上回るよう努めたい。</p>
委員	<p>ふるさと納税の新しい制度「ふるぽ」について、タイムラグや諸問題を精査する必要があるとの説明があったが、具体的にどういうことか。</p>
日下田部長	<p>「ふるぽ」は、はじめに寄付をしてポイントを貯め、後日自分の好きなタイミングでポイントを使い返礼品を受け取る仕組みである。寄付後すぐに商品を発送する分には手間がかからないが、商品受取りの有効期限が2年間のため商品管理が難しいこともあり、事業者との調整も検討する余地があると考えている。</p>
委員	<p>商品によってはいちごのように季節限定のものがあつたりするので、「ふるぽ」はいい制度だと思う。いかに使いやすい制度であるかが重要なので、なるべく利用しやすい制度を検討してほしい。</p>
委員	<p>返礼品は業者が発送するのか。</p>
日下田部長	<p>基本的にはそうである。発送時期については町が指示することになると思う。近隣</p>

	<p>の市町では真岡市が「ふるぽ」に参加しているので、真岡市の情報を聞きながら検討していきたい。</p>
委員	<p>ふるさと納税の目標額が1億円で前年並みに寄付を受けているとのことだが、もらう金額とかかる経費との兼ね合いも重要と考えるがいかがか。</p>
日下田部長	<p>返礼品代として寄付額の3割程度がかかっており、プラス1割強が送料としてかかるので、5割近くが経費となってしまふ。その他、税額控除として出ていってしまう部分もある。返礼品率が高い所は寄付は集まるが、その分経費がかかるので利益率はかなり低くなる。益子町は経費を差し引いても、寄付額の3割くらいはプラスである。</p>
委員	<p>利益があるのならいい制度なので、なおさら利用しやすい制度を検討してほしい。</p>
委員	<p>WEB 陶器市が好評であり、事業者数も増えたようだったので、ふるさと納税も協力事業者をもっと増やすといいのではないか。</p>
日下田部長	<p>広報で募集はしているが、なかなか新規登録者が出てこないのが現状。登録料もかからず、商品の掲載や発送も業者の負担にはならないので、町のPR不足なところも否めない。</p>
	<p><u>○P.64 施策2 長期的視点に立った財政計画の策定</u></p> <p>質疑なし</p>
	<p><u>○P.65 施策1 行政経営の効率化</u></p>
委員	<p>職員採用について県内の大学卒業見込の人はいなかったのか。</p>
高濱課長	<p>採用者の中に新卒の県内大学生がいなかっただけで、応募者の中にはいた。今年度は応募者19名のうち5名が採用となったが、受験者の傾向としては、新卒者は19名中4名ほどしかいなく、社会人経験者が多い。理由としては、町の採用時期は一般企業の採用時期がほぼ終了してしまっているため、内定が決まっている新卒者が多いからではないか。町の新規採用者の条件として高卒以上としているが、高卒者は9月以降からしか募集できないため、試験の時期が9月10月になってしまう。</p>
委員	<p>指定管理者はずっと4件のままだが、増えないのか。</p>
日下田部長	<p>増えない。指定管理に見合う建物がない、新築もなかったというのが実情。</p>
	<p><u>○P.66 施策2 職員の人材育成</u></p>
高濱課長	<p>事前質問への回答後からの変更点として、元々は11月中にDMOに配属される予定</p>

	<p>だった任期付職員に 30 代の男性が採用になり、1 月から勤務することが決定した。</p>
	<p>OP. 67 施策 1 公共サービスの新しい担い手への支援</p>
委員	<p>次期総合計画骨子(案)への意見をいただいたまちづくり団体とはどういう団体か。</p>
事務局	<p>町内で活動する 35 団体あるうちの 9 団体から意見をいただいた。地域コミュニティ運営団体、ボランティア関係、環境保全活動団体など。</p>
委員	<p>意見の中にいい内容はあったか。</p>
事務局	<p>優先目標を設定したことが有意義であった、現行計画の検証の状況についてきちんと示すべき、具体的行動の明記や、基礎目標を実現するための取組み体系に新しい施策が出ているのは良いことだ、などの意見があった。他には、企業誘致、子育て支援、農地の後継者不足問題、移住者向けの環境整備、言葉の言い回しについての意見などもあった。</p>
委員	<p>地域課題解決型創業支援補助金は県で交付しているものであるが、申請があった場合はどのような流れになるか。また今年度は何か相談があったか。</p>
事務局	<p>制度そのものが県のものなので、町はあくまでも PR だけで、移住相談と合わせて紹介をしている。相談については町でも受けているが、申請は県に直接行う形になる。今年度は 1 件相談があり、今後移住して町内で飲食業を営みたいという方から問い合わせを受けた。</p>
委員	<p>高齢者支援課「高齢者を取り巻く諸問題について情報収集を行う」について、「サロンや運動教室、窓口等で相談を行い、組織の発掘と併せて問題周知について検討する」という回答を得たが、具体的にどういうことか。実際に困っていることに関して自分の責任だと思う人もいて、なかなか相談できない部分があるので、問題を把握すること、それを支援することは難しいのではないか。</p>
委員	<p>毎回同じ文章なので、本当にやっているのか、疑問に思うところである。結局は依頼が来なければ動かない受け身の内容なので、実際に動いていないのではないか。</p>
事務局	<p>担当課に詳しく確認していなかったので、お答えしがたい部分である。ご意見を基に担当課に確認の上、改善方針を検討していく。</p>
	<p>OP. 68 施策 2 地域の「ちから」の結束への支援</p>
委員	<p>ガイドブックの内容が毎年更新されてないのはなぜか。情報発信をきちんと出すのであれば、見直しをするのがいいのではないか。追加すべき情報を差し込むだけでも十分だと思う。</p>

日下田部長	<p>サロンなどは常駐するものではないので、更新する内容がないのではないかと。担当課に意見として伝えさせていただきたい。</p> <p>(3) その他</p> <p>外部検証・意見シートは10日程度を目安にご提出をお願いしたい。</p> <p>5. 閉会</p>
-------	---